

移転価格分析レポートの構成(サンプル)

項 目	具体的内容等
1 移転価格文書化の概要	
移転価格文書化の目的と結論の要約	
2 ○○業界の概要	
○○業界の特徴	業界・市場の概要、特徴、技術開発、競争状況、統計資料等
日本の○○業界市場	日本市場の概要、特徴、技術開発、競争状況、統計資料等
3 法人の会社概要	
法人の事業の概要	事業概要、組織図、資本関係図、取引図、決済の流れ等を含む
国外関連取引に係る法人の事業概要	沿革、事業戦略など
国外関連取引に係る取引及び製品の説明	取引の種類、製品の特徴、製品価格、価格推移、価格設定方法等
4 国外関連者の会社概要	
国外関連者の組織の概要	3に同じ
国外関連取引に係る国外関連者の事業概要	3に同じ
国外関連取引に係る取引及び製品の説明	3に同じ
5 検討対象となる国外関連取引	
検討対象となる国外関連取引の概要	取引金額、取引条件、取引通貨、価格設定方法の詳細等
検討対象となる国外関連取引に関連する契約の概要	独占販売契約、使用料契約、技術援助契約等
6 機能及びリスク分析	
機能分析	
研究開発機能、製造機能、販売機能、無形資産の貢献	経営管理機能、情報サービス機能等を必要に応じて追加
リスク分析	
販売リスク、在庫リスク、為替リスク、信用リスク	研究開発リスク、製造物責任リスク等を必要に応じて追加
要約	国外関連者別の機能・リスク整理表を添付
7 移転価格の算定方法の選定	
日本及び相手国の移転価格税制からの検討	適用可能な移転価格算定方法の検討
OECD移転価格ガイドラインからの検討	国際的指針としてのガイドラインの確認
検証対象法人の決定	移転価格算定方法と検証可能な法人の選択
移転価格の算定方法の選定方法と考え方	○○法を採用した理由
8 独立企業間レンジの選定と決定	
検証対象法人の財務データ	国外関連取引に係る損益情報等
比較対象取引の選定方法と考え方	機能及びリスク分析に基づく比較対象取引の選定過程の詳細
選定基準、比較対象取引の抽出の範囲と選定方法	定量基準と定性基準の設定、一次選定と二次選定の方法
独立企業間レンジの決定	
基準レンジの適用結果	検証対象法人の損益数値に基準レンジを適用した結果とその説明
9 結論	
	簡潔に基準レンジの適用結果と税務リスクの有無についてコメント
10 添付資料	
	法人の財務データ（全体とセグメント）、基本契約書、コンパラの財務データ・事業概要・除外理由等、その他参考資料